

取り組みは、環境・エネルギー問題に対する知識や関心度などに左右されてしまいがちです。そのため、2章に掲げた「エネルギー診断者」などは、市民の取り組みを技術的にサポートしていくしくみといえますが、多くの市民が当該問題に関心を持ち、自発的な行動に関わっていくためには、市民の目線から普及・啓発等を手がけていく下記のようなサポート体制も必要です。

(1) 温暖化防止市民ネットワーク

市内には、すでに「市民環境大学」「環境市民会議」「福生エネルギー市民会議」など、環境やエネルギー問題に関する市民の取り組みが萌芽しており、環境意識が高まってきています。このような地球環境保全・温暖化防止に関わるテーマを統合した組織を市内に育て、これまでの蓄積を多くの市民にフィードバックしていきます。

環境フェスティバルに出展した市民会議ブース（平成17年5月）

具体的には、1章に掲げられたような生活者（一般世帯）に期待される目標値達成に向けた市民アクションプログラム作成や、取り組みの意義に対する理解を促すための普及・啓発プログラムの作成とその実践、実践した情報の交換、市の行う省エネルギーや、エコドライブなどのキャンペーンとの協働など、草の根的な広がりを進めていくための活躍が期待されます。

3-3 事業者の取り組み

市内事業者には、下記のような役割が期待されます。